

3ヶ年のシラバス 目次

○国語	P 1～3
○地理歴史・公民	P 4～6
○数学	P 7～8
○理科	P 9～11
○外国語(英語)	P 12～13
○家庭	P 14
○美術	P 14
○音楽	P 15
○書道	P 15
○体育	P 16
○保健	P 17
○情報	P 17
○総合的な学習の時間	P 18

3ヶ年のシラバス【国語】

I. 目標

- ・国語を的確に理解する能力や、国語を適切に表現できる力を育て、伸ばしていく。
- ・思考力や想像力を培い、国語で伝え合う力を高める。
- ・多様な文章に接することで言語感覚を磨き、視野を広げ、言語文化に対する関心を深める。
- ・読書によって感じ方や考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育てる。
- ・古典を読む能力を養い、先人のものの見方や感じ方や考え方を知り、古典への関心を深める。

II. 授業の進め方

【高校1年】

国語総合(週5時間/現代文2時間・古典3時間)

- ・論理的な文章を読み、その構成や論理の展開の仕方を追っていく。
- ・文学的な文章を読み、登場人物の心情の変化をたどる読解作業を進める。
- ・古典文法を、テキストを用いて体系的に学ぶ。
- ・文法や単語の意味を理解し、逐語訳を作る。
- ・漢文の訓読法や基本知識を身につける。

【高校2年】

現代文B(文系週3時間、理系週2時間)

- ・抽象表現や論説文によく出てくる語彙や概念を取り上げ、読解を進める。
- ・文学的な文章を読解する基本技術を学び、その構造や主題を把握していく。

古典B(文系、理系ともに週3時間)

- ・主述の対応関係に注意して古文を現代語訳し、作品全体を読み解く。
- ・漢文の訓読法や基本知識を、定着するまで繰り返し授業で取り上げる。

【高校3年】

[文系]

現代文B(週3時間)

- ・評論に頻出するテーマの予備知識を体系的に学ぶ。
- ・多分野及び大量の評論を読み、実践的に読解力を養う。
- ・小説の登場人物の心情をふまえ、場面全体の構造を捉える。

古典B(週3時間)

- ・習い覚えたことを用いて、古文の読解と鑑賞を行う。
- ・登場人物の心情を正確に理解する。
- ・和歌の読解と修辞法に習熟する。

古典A(週2時間)

- ・小説、史伝、思想、漢詩などさまざまな種類の漢文を読みこなす。
- ・基本事項の徹底を図る。

[理系]

現代文B(週2時間)

- ・抽象概念を含む論説文を的確な速度で読みこなせるようになる。
- ・小説の登場人物の心情や比喻表現の意味を的確に捉える。

古典B(週2時間、選択者のみ)

- ・古語や文法、句法など基本事項の徹底を図る。
- ・習い覚えたことを応用し、古文の読解を行う。
- ・登場人物の心情を正確に理解する。
- ・和歌の読解と修辞法を理解する。
- ・小説、史伝、思想、漢詩などさまざまな種類の、まとまった分量の漢文を読む。

Ⅲ. 3ヶ年のシラバス

学年	目標	学習内容	使用教材
高1	<p>国語への関心や意欲を高める。</p> <p>国語を正確に理解するための基本を身につける。</p> <p>国語を適切に表現するための基本を習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語や難解語の意味を確認する。 ・段落の要約や要旨のまとめを行う。 ・登場人物の心理の変化を捉える。 ・古語辞典を用いて単語の意味を調べる。 ・古典文法を習得する。 ・主語に注意しながら現代語訳を行う。 ・漢文訓読法や基本知識を習得する。 ・漢詩や古代中国の思想を理解する。 	<p>「時間と自由の関係について」(内山節)、</p> <p>「水の東西」(山崎正和)、「羅生門」(芥川龍之介)、「城の崎にて」(志賀直哉)、「広告の形而上学」(岩井克人)、『宇治拾遺物語』</p> <p>「絵仏師良秀」、『土佐日記』、『竹取物語』、『伊勢物語』、和歌、故事成語、唐詩、「推敲」、「雑説」(韓愈)、『十八史略』「臥薪嘗胆」など</p>
高2	<p>〔現代文B〕</p> <p>評論の論理の展開の型を知り、精読を通じて読解力を高める。</p> <p>小説の読解のコツをつかみ、人物の心情を把握する。</p> <p>〔古典B〕</p> <p>古語や文法など基本を固め、読解力をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論説文を読む基本技術を知り、筆者の主張を要約する。 ・抽象表現や語彙や概念を読解し、慣れる。 ・小説読解の基本技術を学び、それを用いて小説の構造、主題、人物の心情をつかむ。 ・既習の文章と同テーマの文章を読み、応用的な読解力を向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・重要古語を習得し、古典文法や漢文の基本を定着させる。 ・身につけた知識を活用して、初見の文章を読解する。 ・作品のテーマや人々の考え、思想を理解する。 	<p>「空缶」(林京子)、「情報の彫刻」(原研哉)、「ラップトップ抱えた『石器人』」(長谷川眞理子)、「思考バイアス」(池内了)、「ファンタジー・ワールドの誕生」(今福龍太)、「山月記」(中島敦)、「身体、この遠きもの」(鷺田清一)、「物語るという欲望」(内田樹)、「芝」(蜂飼耳)、「こころ」(夏目漱石)など</p> <p>『枕草子』「すさまじきもの」、「中納言参り給ひて」、『源氏物語』「光源氏の誕生」、「北山の垣間見」、『大鏡』「雲林院の菩提講」、「花山院の出家」、「肝試し」、『史記』「鴻門之会」、「廉頗と藺相如」、老荘の思想、孟子と荀子など</p>
	<p>〔現代文B〕</p> <p>論理的展開や筆者の主張をつかむ力を養う。</p> <p>小説の登場人物の心理や主題をつかむ力を養う。</p> <p>〔古典B〕</p> <p>古語や文法など基本を定着させ、読解力をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワード、論説文の基本構造のつかみ方を学ぶ。 ・抽象表現や論説文の語彙に慣れる。 ・文学を主題とする評論を読む。 ・小説理解の基本技術を学び、それを用いて構造や主題をつかむ。 ・近代小説の名作を読み、表現や主題を味わう。 <ul style="list-style-type: none"> ・重要古語を習得し、古典文法や漢文の基本を確実に覚える。 ・身につけた知識を活用して初見の文章を読解し、長めの文章に読み慣れる。 	<p>「空缶」(林京子)、「情報の彫刻」(原研哉)、「思考バイアス」(池内了)、「ラップトップ抱えた『石器人』」(長谷川眞理子)、「科学・技術と生活空間」(村上陽一郎)、「山月記」(中島敦)、「こころ」(夏目漱石)など</p> <p>『源氏物語』「光源氏の誕生」、「桐壺の死」、『大鏡』「雲林院の菩提講」、「最後の除目」、『史記』「鴻門之会」、「廉頗と藺相如」、老荘の思想、孟子と荀子など</p>

高3	文系	<p>〔現代文B〕 文章を論理的に読む訓練をし、筆者の見解・主張を捉える。</p> <p>〔古典B〕 作中人物の心情を理解し、描写をより精緻に捉える。</p> <p>〔古典A〕 大学入試レベルの漢文の内容をすばやく的確に把握する能力を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別(言語論、文明論等)に教科書、副教材から精選した文章を扱う。 ・小説について、描写や比喩、象徴などの細部から人物の心情を見抜く力を養う。 ・小説の場面全体を俯瞰的に捉える力を養う。 <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力増強と敬語の理解を中心に、自力で文章を読み解いていく力をつける。 ・大学入試へ向け、読解に加え、記述問題に取り組むことで、的確な表現力を養う。 <ul style="list-style-type: none"> ・漢文は本来外国語の文章であるという観点から句法以前に基本的な語法や構文についての知識を重視し、それを基礎とする訓読を行う。 ・現代語や古語にはない意味や読みの漢字を的確に読解できるようになるために語彙を増やす。 	<p>「絵画の二十世紀」(前田英樹)、「日本文化私観」(坂口安吾)、「無常ということ」(小林秀雄)、「貨幣共同体」(岩井克人)、「リスク社会とその希望」(大澤真幸)、大学入学共通テストの傾向を踏まえた文章、入試頻出の著者の評論など</p> <p>『源氏物語』『高麗人の観相』、「藤壺の内」、「心づくしの秋風」、『枕草子』『宮に初めて参りたるころ』、「古今集仮名序」、『無名抄』、『俊頼髓脳』、『笈の小文』など</p> <p>漢詩「桃夭」、「行行重行行」、「秋風辞」、「兵車行」、思想「青取之於藍而青於藍」、「夢為胡蝶」、史伝「天道是邪非邪」、文章「答陳商書」、小説「織女」、「売鬼」など</p>
	理系	<p>〔現代文B〕 「読む」ということがどういうことなのかを考える。</p> <p>〔古典B〕 基本を定着させ、読解力の向上を図り、大学入学共通テストレベルの文章を読みこなす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を繰り返し引き、語彙を増やす。 ・論理的思考力を伸ばす。 ・授業で学んだ読解のコツを復習して、習得する。 <ul style="list-style-type: none"> ・重要古語を習得し、文法事項の復習と定着を図る。 ・身につけた知識を用いた読解を繰り返し、スピードを上げて文章を読みこなせる力をつけてゆく。 	<p>「貨幣共同体」(岩井克人)、「Not I,not I…」(中沢新一)、「藤野先生」(魯迅)、入試頻出の著者の評論、大学入学共通テストの傾向を踏まえた文章など</p> <p>『源氏物語』『北山の垣間見』、『枕草子』『宮に初めて参りたるころ』、「思想」(儒家・道家の思想)、『史記』、漢詩(近体詩)、大学入学共通テストの傾向を踏まえた問題演習など</p>

3ヶ年のシラバス【地理歴史・公民】

I. 目標

- ・さまざまな興味・関心・信条・宗教・イデオロギーなどを持った個々の人間が、小は家庭から大は国家までの集団を形成し、さらに国家の枠を超えた文化・宗教・イデオロギー集団なども存在せしめ、集団は多様な組織運営のしくみを発達させた。これらを学ぶことは「人間の創造した事物を学ぶ」「人間の社会を学ぶ」等々、すなわち「人間とは何か」を学ぶ事である。
- ・上記の知識を基礎として、個としての自分と集団としての社会との関係や結びつきについて思考する能力を身につける。
- ・高校では、現実問題としての大学受験に直結した授業を重視するとともに、常に知識吸収と思考のバランスを意識した学習指導を実施する。

II. 授業の進め方

高1	現代社会 (2単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済、国際経済、倫理分野、現代社会の課題などの基礎的な知識を学習し、政治、倫理、現代社会への関心を高める。 ・自ら考え、表現力を高める活動、および主権者としての心構えについての学習を意識的に実施する。
高2 文理系	地理A (2単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の自然環境や産業について、系統的に学習する。 ・図表や統計の読解力養成に主眼を置く。
高2 文系	世界史B (3単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・古代からヨーロッパの近代前半までを学習する。 ・定期テストは教科書範囲であるが、授業内容は受験レベルに踏み込んだものである。
	日本史B (3単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から織豊政権までを学習する。 ・高3では高2で終了した続きを学習するので、授業は受験レベルである。 ・学習の進め方を示し、知識の定着を図るため、適宜小テストを実施する。
高2 理系	世界史A (2単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・近代から現代までを学習する。 ・現代の世界を形成する画期となった出来事を中心に扱い、受験では使わない理系生徒でも身につけてほしい歴史的思考力を培う。
高3 文系	世界史B (選択で5単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ近代・中国明朝清朝から第二次世界大戦後までを学習する。 ・予定を早めに終了すれば、テーマ別の演習を実施する。
	演習世界史 (選択で2単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀後半から第2次世界大戦後までを各国別・地域別に講義・演習を行う。
	日本史B (選択で5単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の成立以降の近世史、明治維新～太平洋戦争後の近現代史を学習する。 ・典型的な入試問題を適宜扱う。
	演習日本史 (選択で2単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・部門別・テーマ別整理・大学入学共通テストを含めた受験対策を実施する。 ・文化史や高度経済成長期の日本についても詳しく学習する。
	地理B (選択で4単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・高2の系統地理の未習分野に加えて、地誌、地図と地理的技能を学習する。 ・2学期後半には、大学入学共通テスト対策として演習問題を多用する予定である。
	政治・経済 (選択で4単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試の基礎から私大・国公立2次レベルまでの受験に必要な内容を学習する。
高3 理系	地理B (選択で4単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・高2の系統地理の未習分野に加えて、地誌、地図と地理的技能を学習する。進度は文系と同じである。
	政治・経済 (選択で4単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試の基礎に必要な内容を学習する。進度は文系と同じである。

Ⅲ. 3ヶ年のシラバス

学年		目標	学習内容	使用教材
高1	現代社会	現代社会の経済のしくみを理解し、現代社会の課題を主体的に考え、広い視野で物事を捉えうるようにする。また、哲学思想の基礎事項を学習し、倫理分野への関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙について(有権者の心構えなど) ・現代の経済社会と政府の役割 ・経済活動のあり方と国民福祉 ・国際経済の動向 ・他者と共に生きる倫理 ・現代社会の動向 	現代社会教科書 現代社会資料集 倫理資料集
高2 文理系	地理A	世界の自然環境や産業についての系統的な学習の中で、図表を読み取り、論理的に思考する能力、すなわち「地理的思考力」の育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の自然環境 ・資源と産業 ・生活・文化とグローバル化 	地理A B教科書、地図帳、地理資料集
高2 文系	世界史B	世界の諸地域・諸国・諸民族の歴史を学ぶことにより、国際社会の諸問題を客観的に分析しうる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・先史の時代 ・オリエントと地中海世界 ・アジアの古代文明 ・東アジア世界の形成と発展 ・イスラム世界の形成と発展 ・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・内陸アジアの変遷 ・近代ヨーロッパの成立 	世界史B教科書、世界史資料集・問題集
	日本史B	中学までの学習を基礎として自国の歴史をより深く学び、自国の文化や特質に対する深い洞察力を身につける。それにより、国際社会と自己の関わりを分析しうる能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・原始・古代(最古の文化～地方政治と武士) ・中世(院政と平氏政権～戦国大名) ・近世(ヨーロッパ人の来航～織豊政権) 	日本史B教科書、日本史資料集・問題集
高2 理系	世界史A	世界の諸地域・諸国・諸民族の歴史を学ぶことにより、国際社会の諸問題を客観的に分析しうる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と市民革命 ・19世紀のヨーロッパ国際関係 ・帝国主義の時代 ・世界大戦 ・アジアの民族運動 ・冷戦 ・冷戦後の世界 	世界史A教科書
高3 文系	世界史B	高1の目標を継続しつつ、受験態勢を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ主権国家体制の展開 ・欧米における近代社会の成長 ・欧米における近代国民国家発展 ・アジア諸地域の繁栄 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動 ・二つの世界大戦 ・第二次世界大戦後の世界 	高1のものを継続使用する。

高3 文系(続き)	演習世界史	大学入学共通テストから私大・国公立2次試験に対応した学習を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀後半～第二次世界大戦後までの各国別・地域別講義と演習 ・ヨーロッパ各国史 ・南北アメリカ大陸史 ・アジア史 ・アフリカ・太平洋史 	高1のものを継続使用する。
	日本史B	高2の目標を継続しつつ、受験態勢を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・近世 幕藩体制の成立・展開、幕藩体制の動揺と幕政改革、列強の接近と天保の改革 ・近現代 明治維新～日清・日露戦争前後、第一次世界大戦～太平洋戦争、戦後の民主化及びその後の日本 	高2のものを継続使用する。
	演習日本史	大学入学共通テストから私大・国公立2次試験に対応した学習を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化史の演習 ・戦後史の学習 特に高度経済成長期 ・演習 部門史・テーマ史・大学入学共通テスト対策、私大・国公立2次試験対策 	高2のものを継続使用する。
	地理B	大学入学共通テストに対応した学習を完成させると同時に、国公立2次力養成のための基礎をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活・文化とグローバル化 ・世界の諸地域 ・地理情報と地図 	高2のものを継続使用する。
	政治・経済	大学入試の基礎から私大・国公立2次試験に対応した学習を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の政治 民主政治の基本原則・日本国憲法の基本原則・日本の政治機構・現代政治と特質と課題・現代の国際政治 ・現代に生きる自己の課題 ・現代社会と倫理 ・国際社会に生きる日本人の自覚 ・現代の諸課題と倫理 	<p>政治・経済教科書、資料集、倫理教科書、問題集</p> <p>倫理資料集は、高1のものを継続使用する。</p>
高3 理系	地理B	大学入学共通テストに対応した学習を完成させる。	・文系の地理Bと学習項目は同じである。	高2のものを継続使用する。
	政治・経済	大学入試の基礎に対応した学習を完成させる。	・文系の政治・経済と学習項目は同じである。	文系に同じ。

3ヶ年のシラバス【数学】

I. 目標

- ・「何が問題で何が必要か」と、物事の本質をつかみ、それに筋道立てて対応する能力(すなわち数学的思考力)を高める。
- ・偉大な先人の思考法や、身近な工夫を織り交ぜ、数学の本質に迫り、さまざまな視点から分析を加えることで、数学的な思考力を伸ばす。
- ・数学の思考法の便利さを学ぶとともに、その美しさを鑑賞する。

II. 授業の進め方

- ・高1までに数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを終了する。(数学Ⅱは三角関数・指数関数・対数関数まで、数学Bは数列まで)
- ・高2理系は数学Ⅱ・B・Ⅲ(複素数平面以外)を終了する。
- ・高2文系は数学Ⅱ・Bと数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bの復習と演習を行う。
- ・高3理系は数学Ⅲを終了し、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bの復習と演習を行う。
- ・高3文系は数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを中心とした演習を行う。

III. 3ヶ年のシラバス

学年		目標	学習内容	使用教材
高1	数学 ・ Ⅱ	高校数学の土台となる方程式と不等式、二次関数及び図形と計量、図形と方程式、各種関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	数と式、二次関数、図形と計量、三角関数、図形と方程式、指数関数と対数関数	『数学Ⅰ』『数学A』『数学B』『数学Ⅱ』『フォーカス ゴールド数学Ⅰ+A』『フォーカス ゴールド数学Ⅱ+B』(啓林館)
	数学A・B ・ Ⅱ	場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、データの分析、式と証明、高次方程式、数列について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識出来るようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、データの分析、式と証明、高次方程式、数列	
高2	理系	極限、微分法及び積分法について理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。 確率分布と統計的な推測、数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。また、平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	微分、積分、極限、微分法、積分法 数列、平面ベクトル、空間ベクトル、確率分布、平面上の曲線	『数学Ⅱ』『数学B』『数学Ⅲ』『フォーカス ゴールド数学Ⅱ+B』『フォーカス ゴールド数学Ⅲ』(啓林館)
	文系	微分・積分、数列、ベクトルの考えについて理解させ、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。大学入学共通テスト・私大文系数学の受験問題に対応する力をつける。問題選択の幅は基礎～標準入試問題とする。構成は既習範囲の復習も兼ねて標準問題を中心に扱う。頻出問題は発展問題であっても扱う。	微分、積分、数列、ベクトル、確率分布 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの範囲を全般的に扱う演習	

高3	理系	<p>国公立2次・私大記述式の受験問題に対応する力をつけることを目標とする。問題選択の幅は標準～発展問題とする。構成は既習範囲の復習も兼ねて標準問題を扱い、上位校での頻出問題を中心に発展問題を付加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面 ・理系数学Ⅲ： <ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅲの微分・積分の演習 数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと数学Ⅲ(微分積分を除く)の演習。 ・理系選択数学Ⅱ： <ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの範囲を全般的に扱う演習 	『数学Ⅲ』 オリジナルプリント
	文系	<p>国公立文系2次試験に対応する力をつけることを目標とする。後半に大学入学共通テストの形式に対応した演習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文系数学： <ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの範囲を全般的に扱う演習 大学入学共通テストの演習 	オリジナルプリント

3ヶ年のシラバス【理科】

[高等学校]

I. 目標

自然に対する興味・関心や探究心を高め、目的意識をもった観察・観測・実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育成するとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方・考え方や自然観を育成する。

II. 授業の進め方

[高校1年] ◇必修科目 化学基礎 週2時間
物理基礎 週2時間
生物基礎 週2時間

◇化学基礎

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

◇物理基礎

物理的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

◇生物基礎

生物や生物現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

[高校2年] 理系 ◇理系必修科目 化学 週3時間
◆理系選択科目 物理・生物から1科目 週3時間
文系 ●文系選択科目 化学基礎・物理基礎・生物基礎から2科目 週2時間(各週1時間)

◇化学

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

◆物理

物理的な事物・現象についての観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

◆生物

生物や生物現象についての観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力や態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

●化学基礎

化学基礎の応用分野を含め、1年次に扱えなかった分野まで扱い、大学入試に通用する学力を身につける。

●物理基礎

1年次で扱った内容に追加をし、さらに掘り下げる。また、演習問題や授業を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。

●生物基礎

演習問題や授業を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。

[高校3年] 理系 ◇理系必修科目 化学 週4時間
◆理系選択科目 物理・生物から1科目 週4時間
文系 ●文系選択科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎から0～2科目 週0～2時間(各週1時間)

◇化学

化学的な事物・現象についての観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

◆物理

物理的な事象・現象についての観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

◆生物

生物や生命現象についての観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

●化学基礎

演習問題や授業を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。

●物理基礎

演習問題や授業を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。

●生物基礎

演習問題や授業を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。

III. 3ヶ年のシラバス

		目標	学習内容	使用教材
高1	化学基礎	・日常生活や社会との関係を図りながら、物質とその変化への関心高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	・物質の構造 ・物質の状態 ・物質の変化	化学基礎教科書 化学図表 オリジナルテキスト 問題集
	物理基礎	・日常生活や社会との関係を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーへの関心高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	・物体の運動とエネルギー ・様々な物理現象とエネルギーの利用	物理基礎教科書 オリジナルプリント 問題集
	生物基礎	・日常生活や社会との関係を図りながら、生物や生命現象への関心高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	・生物の特徴 ・遺伝子とそのはたらき ・生物の体内環境の維持 ・生物の多様性と生態系	生物基礎教科書 生物図表 オリジナルプリント 問題集
高2 理系	化学	・化学的な事象・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。	・物質の変化 ・無機物質 ・有機化合物	化学教科書 化学図表 オリジナルテキスト 問題集
	物理	・物理的な事象・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	・様々な運動 ・波 ・電気と磁気	物理教科書 オリジナルプリント 問題集
	生物	・生物や生命現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	・細胞と分子、代謝 ・遺伝情報と発現 ・生殖と発生 ・動物の反応と行動 ・植物の環境応答	生物教科書 生物図表 オリジナルプリント 問題集
高2 文系	化学基礎	・化学基礎の応用分野を含め、1年次に扱えなかった分野まで扱い、大学入試に通用する学力を身につける。	・生活と物質 ・化学基礎の応用分野 ・入試問題演習 ・解答解説	化学基礎教科書 化学図表 オリジナルテキスト 問題集
	物理基礎	・1年次で扱った内容に追加をし、さらに掘り下げ、物理現象への理解を深める。 ・大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。	・様々な物理現象とエネルギーの利用 ・入試問題演習 ・解答解説	物理基礎教科書 オリジナルプリント 問題集
	生物基礎	・大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。	・入試問題演習 ・解答解説	生物基礎教科書 生物図表 オリジナルプリント 問題集

高3理系	化学	<ul style="list-style-type: none"> 化学的な事物・現象についての観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活と物質 生命と物質 反応速度と平衡 探究活動 入試問題演習 解答解説 	化学教科書 化学図表 オリジナルプリント 問題集
	物理	<ul style="list-style-type: none"> 物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気と磁気 原子 入試問題演習 解答解説 	物理教科書 オリジナルプリント 問題集
	生物	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物群集と生態系 生命の起源と進化 生物の系統 入試問題演習 解答解説 	生物教科書 生物図表 オリジナルプリント 問題集
高3文系	化学基礎	文系選択演習 <ul style="list-style-type: none"> 1・2年次で扱った内容について、さらに掘り下げ、化学現象への理解を深める。 大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題演習 解答解説 	化学基礎教科書 化学図表 オリジナルテキスト 問題集
	物理基礎	文系選択演習 <ul style="list-style-type: none"> 1・2年次で扱った内容について、さらに掘り下げ、物理現象への理解を深める。 大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題演習 解答解説 	物理基礎教科書 オリジナルプリント 問題集
	生物基礎	文系選択演習 <ul style="list-style-type: none"> 大学入試問題の演習を通じて、大学入試に通用する学力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題演習 解答解説 	生物基礎教科書 生物図表 オリジナルプリント 問題集

3ヶ年のシラバス【外国語(英語)】

I. 目標

『ことばとしての「英語」を使うことによって、「ことば」そのものの真の理解を目指す。』これが昭和学院秀英の英語教育の目標です。

英語は日本語と同じ「ことば」です。「ことば」を学ぶことには、自分自身を知るという意味がある、と私たちは考えています。「外国語」という鏡を見て、自分の母語の新たな姿を知ることができる、と私たちは考えています。「ことば」とはコミュニケーションのための道具である、だから使わなくては意味がない、と私たちは考えています。

本校の英語の授業では、この「ことば」が必ず持つ、次の3つのルールを、3ヶ年を通じて扱います。

- ①文法：ことばに必ずある規則です。規則がないものはことばとは言えません。一人ひとりが違うルールで話していたら、大変なことになります。ですからルールが必要になります。
- ②語彙：文法だけ覚えても、相手に伝える「内容」がないと人にことばを伝えることはできません。伝えたいことを表現する力は、単語・熟語をはじめとする語彙を、その意味や文章内での用い方、音声的特徴を総合的に身につけることによって、初めて養われます。
- ③構文：文法と語彙だけあっても、相手に伝えるときにそれをどうやって活用するのかがわからないと困ることになります。構文とは、文法と語彙の使い方を示すルールのことです。

そして、これらのルールを用いながら、英語を聴くこと、読むこと、話してやり取り・発表すること、書くことの5つの領域にまたがる言語活動を行います。それらの活動を通して、話し手・書き手の意図を的確に理解し、情報を整理し、自分の意見をまとめ、聴き手・読み手に合わせてそれらを適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになることを目指します。

II. 授業の進め方

高 1	<p>〔コミュニケーション英語Ⅰ〕 中学校で学んだ英語のルールを復習しながら、日常的・社会的な話題について読んだり聴いたりして、その内容を理解します。また、オンライン英会話等を通してやり取りの練習を行うとともに、ネイティブ・スピーカーとの対面授業を通して表現力を高めます。そして、自分の興味関心のあるトピックについて、自分の意見をスピーチ原稿としてまとめ、発表します。</p> <p>〔英語表現Ⅰ〕 中学校で学んだ英語のルールに基づいて目的や場面に応じて、基本的な表現を用いて、自分の意見・主張を書いたり話したりします。</p>
高 2	<p>〔コミュニケーション英語Ⅱ〕 高1に引き続き、日常的・社会的な話題について、特に賛否の分かれる論題に関する意見を読んだり、発表を聴いたりして、その内容を理解します。また、賛否の分かれる論題について、賛成・反対の立場から意見を書いたり、発表したりして、ディベートを行います。</p> <p>〔英語表現Ⅰ〕 高1に引き続き、英語のルールに基づいて目的や場面に応じて、多様な表現を用い、様々な意見・主張、課題解決策などを詳しく書いたり話したりします。また、ネイティブ・スピーカーとの対面授業を通して多様な表現を学びます。</p>
高 3	<p>〔コミュニケーション英語Ⅲ〕 これまで学んだ事項を復習しながら、様々な話題、特にアカデミックなトピックについて書かれた文章を読んだり聴いたりして、その内容を理解します。また、アカデミックなトピックについて説得力のある根拠を示し、自分の主張を書いたり述べたりします。そして、多種多様な大学入試問題に対して、適切に解答できるよう、演習を行います。</p> <p>〔英語表現Ⅱ〕 これまで学んだ英語のルールを復習しながら、和文英訳、自由英作文を行います。また、様々なトピックに関して読んだり聴いたりした内容を踏まえて、自分の意見を書いたり話したりする活動を行います。</p>

Ⅲ. 3ヶ年のシラバス

学年	目標	学習内容	使用教材
高1	コミュニケーション英語Ⅰ	<p>〔トピック例〕</p> <p>言語・文化、自然科学、伝統文化、芸術、社会貢献、環境、生き方、共生、建築、ボランティア、平和・歴史、科学技術、人間理解など</p> <p>〔文法項目等〕</p> <p>文型、時制、助動詞、態、準動詞(不定詞、動名詞、分詞、分詞構文)、比較、関係代名詞、関係副詞、複合関係詞、仮定法、否定など</p>	「コミュニケーション英語Ⅰ」検定教科書 教科書傍用問題集 オンライン英会話 NHKラジオ英語講座(NHK出版) 各種参考書など
	英語表現		「英語表現Ⅰ」検定教科書 教科書傍用問題集 各種参考書など
高2	コミュニケーション英語	<p>〔トピック例〕</p> <p>冒険、伝統文化、探求、科学、歴史、国際協力、医療、言語・民族、発明、環境、共生、平和・社会貢献、自然科学・宇宙、手紙、家族</p> <p>〔文法項目等〕</p> <p>前置詞＋関係代名詞、準動詞の意味上の主語、強調構文、仮定法現在、独立分詞構文、冠詞、形容詞、疑問詞、前置詞、接続詞、否定、挿入・強調・倒置、省略、無生物主語、名詞構文、比較、無生物主語構文など</p>	「コミュニケーション英語Ⅱ」検定教科書 教科書傍用問題集 NHKラジオ英語講座(NHK出版) 各種参考書など
	英語表現		「英語表現Ⅰ」検定教科書 教科書傍用問題集 各種参考書など
高3	コミュニケーション英語	<p>〔トピック例〕</p> <p>社会、経済、生き方、科学論説、比較文化、歴史、科学と倫理、教育と情報、民族と歴史、国際問題、経済、医療、健康、自然、環境、科学、社会、制度など</p> <p>〔文法項目等〕</p> <p>主語の決定、目的の表現、理由の表現、時制、動詞の語法、関係詞、時間の表現、数字の表現、仮定・条件、比較、譲歩、重要表現など</p>	「コミュニケーション英語Ⅲ」検定教科書 教科書傍用問題集 大学入試対策問題集 各種参考書など
	英語表現		「英語表現Ⅱ」検定教科書 教科書傍用問題集 大学入試対策問題集 各種参考書など

3ヶ年のシラバス【家庭】

目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通じて、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。		
学年	単元、授業目標など	授業内容	教材・課題など
高1			
高2	【家庭基礎】 1編 自立して生きる 1章 「自立する」とは？ 2章 楽しく安全に食べる 3章 自分らしく着る 4章 人間らしく住む 5章 消費社会を生きる 2編 支えあって生きる 1章 多様化した社会を生きる 2章 子どもと生きる 3章 支えあい生きる	今まで身につけてきたスキルを整理し、自分の人生の中でこれから身につけたいスキルを考え、情報収集させ、改めて、ライフステージの中で自分の位置を実感させる。 ・調理実習 ・被服実習	『家庭基礎2 1』（実教出版）
高3			

3ヶ年のシラバス【美術】

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。		
学年	単元、授業目標など	授業内容	教材・課題など
高1	<ul style="list-style-type: none"> 感じたことや自己の考えをもとにした主題を生成する。 表現形式の選択と創造的な表現を構想する。 色彩や材料のいかし方などの技能を身につける。 意図に応じた多様な表現方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> デッサン 風景写生 内面の自己像 エディトリアルデザイン 	『美術 I』（光村図書） <ul style="list-style-type: none"> 基礎基本としてのデッサン 視覚以外で感じられた風景写生 現代的表現による現在の自分像 取材も含めた冊子のページ編集
高2			
高3			

3ヶ年のシラバス【音楽】

目標	音楽のさまざまな体験、表現や鑑賞を通して生涯にわたり音楽、そして芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。		
学年	単元、授業目標など	授業内容	教材・課題など
高1	【感性を高め、創造的な音楽の能力を伸ばす】 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな打楽器の奏法を身につける。 ・アンサンブルにおける表現の工夫をする。 ・視唱力を伸長する。 ・視奏力を伸長する。 	〈歌唱〉 <ul style="list-style-type: none"> ・日本で親しまれている楽曲 ・世界で親しまれている楽曲 ・日本語以外の諸言語の曲 〈器楽〉 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな打楽器の奏法 ・さまざまな人数によるアンサンブル 	『高校音楽Ⅰ』 (教育出版) 自作プリント (打楽器)
高2			
高3			

3ヶ年のシラバス【書道Ⅰ】

目標	中学校の「書写」から移行して、「書道」は書写される文字に芸術的要素を見いだすことを目標とします。書の古典の臨書を通し、書の芸術性、文字の形に宿る「表情」を探ります。字形に見える均衡を言葉で捉え、言葉による一般化と応用を試みます。身の回りに「書芸術」を見つけ、鑑賞できる目も培うつもりです。		
学年	単元、授業目標など	授業内容	教材・課題など
高1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書による指導内容 楷書、篆書、隸書の学習 行書の学習 仮名の学習 ・『和漢朗詠集』で文字と文学の学ばれ方を知る。 ・書論に触れ、古人の学んだ跡、学び方を知る。 漢文の書き下し文や韻文(漢字仮名まじり書) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運筆の方法と書風の違いを学ぶ。 気脈の取り方の書風への影響を学ぶ。 ・単体、連綿体、変体仮名を通し、仮名の伝統に触れる。 ・和歌を書き表す姿勢を古典文学から学ぶ。 ・書論のことばで書の芸術性を学ぶ。 ・漢詩文の書き下し文を、名筆から集めた漢字と仮名で書いてみる。 	教科書『書道Ⅰ』(光村図書) <ul style="list-style-type: none"> ・法帖や新出文字資料を随時副教材として利用する。
高2			
高3			

3ヶ年のシラバス【体育】

目標	心と身体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。			
学年	単元、授業目標など	授業内容		教材
高1	1. 集団としての行動を身につけ、応用できるようにする。 2. 個人、集団的技能をより高いレベルで身につけゲームを楽しむ。 3. 集団演技を通しお互いの良さを認め合い、協力、表現力を身につける。 4. 自分のペースを守り、各個人の目標に合わせて体力、持久力を身につける。	男子	①器械体操、陸上 ②サッカーⅠ、バスケットボールⅠ ③持久走 武道選択(柔道・剣道)	『最新保健体育』 (大修館書店)
		女子	①バドミントンⅠ、バスケットボールⅠ ②卓球、バレーボールⅠ ③持久走 ダンス	
高2	1. 集団としての行動を身につけ、応用できるようにする。 2. 個人、集団的技能をより高いレベルで身につけゲームを楽しむことができる。 3. 自己の能力に応じた技を習得するため計画的な練習や試合の仕方を工夫する。 4. 自分のペースを守り、各個人の目標に合わせて体力、持久力を身につける。	男子	①ソフトボール、バスケットボールⅡ ②バレーボールⅡ、サッカーⅡ ③持久走	『最新保健体育』 (大修館書店)
		女子	①テニス、バレーボールⅡ ②バドミントンⅡ、バスケットボールⅡ ③持久走	
高3	1. 集団としての行動を身につけ応用できるようにする。 2. 生涯スポーツとしての楽しさを知る。 3. 互いに協力し、役割を分担して練習やゲームができるようにする。また、勝敗に対して正しい態度が取れるようにする。	男子	バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー・テニス・卓球・バドミントンより実施	『最新保健体育』 (大修館書店)
		女子	バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー・テニス・卓球・バドミントンより実施	

3ヶ年のシラバス【保健】

目標	個人及び、社会生活における健康、安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。		
学年	単元、授業目標など	授業内容	教材・課題など
高1	わが国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、人々が適切な生活・行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。	現代社会と健康 <ul style="list-style-type: none"> ・保健活動と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物濫用と健康 ・エイズなどの性感染症の予防 ・欲求と適応機制 ・ストレスへの対処法 ・応急処置の方法 ・心肺蘇生法 	『最新保健体育』 (大修館書店) 『詳解学習ノート』 (大修館書店)
高2	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び、わが国の保険・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。 社会生活における健康の保持増進には、環境などが深く関わっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。	生涯を通じる健康 <ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・妊娠、出産期の健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 ・医療制度、医療保険 社会生活と健康 <ul style="list-style-type: none"> ・環境、大気、水質と健康 ・公害による健康被害の救済と補償 ・食品の安全を守る活動 ・働くことと健康 	『最新保健体育』 (大修館書店) 『詳解学習ノート』 (大修館書店)
高3			

3ヶ年のシラバス【情報】

目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。		
学年	単元、授業目標など	授業内容	教材・課題など
高1			
高2			
高3	情報の活用と表現 情報通信ネットワークとコミュニケーション 情報社会の課題と情報モラル 望ましい情報社会の構築	表計算処理ソフトウェアを活用した実習を行う。 プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を行う。 インターネットを活用した実習を行う。 上記の実習を組み合わせたグループ発表を行う。	『高校 社会と情報』 (実教出版) 実習課題

3ヶ年のシラバス【総合的な学習の時間】

目標	自己肯定力を持って自主的に生き方を決定でき、グローバルな視点から課題を探究しながら独創的な結論に挑戦できる人材を育む。		
学年	単元、授業目標など	授業内容	教材・課題など
高1	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協働するスキルを身につける。 社会の諸問題について、自分の関心から探究テーマを設定する。 情報収集や論文執筆の方法を実践的に学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 校外活動 探究活動 	<ul style="list-style-type: none"> 林間学校準備 論文のテーマ設定、情報収集、論文執筆
高2	<ul style="list-style-type: none"> 平和について関心のあるテーマに分かれ、探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平和学習 探究活動 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行でのフィールドワーク
高3	<ul style="list-style-type: none"> 英語で、論理的に考察・執筆する力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> Essay Writing 	<ul style="list-style-type: none"> 英語による小論文